

令和4年度 二十歳のつどい



二十歳代表のあいさつを述べる廣崎愛花さん(左)と千田泰聖さん(右)

1月8日「久慈市二十歳のつどい」がアンバーホール大ホールで行われました。成年年齢が民法改正により20歳から18歳に引き下げられました。従来どおり20歳の人を対象に「成人式」から名称を改め実施。252人が参加しました。会場では、再会に手を取り合い満面の笑顔で会話を楽しむ人や友人同士で写真を取り合う人たちにぎわいました。

式典では、遠藤市長が「何事にも積極的に失敗を恐れず勇気を出して一步を踏み出し、ふるさと久慈市で培われた豊かな感性と思いやりの心、行動力で大きく羽ばたいてほしい」と式辞。新成人を代表して千田泰聖さんと廣崎愛花さんが「新型コロナウイルスなどの影響により、普通だったことが今では普通ではなくなっている。目まぐるしく変化する世界・時代へ対応できる大人となり、久慈市を支えていける人材を目指していきます」と誓いの言葉を述べました。

式典に引き続き、成人式実行委員会による記念行事が行われ、久慈出身ジャズピアニスト馬場葉子さんが演奏を披露。自身の経験を述べ「努力するしかない」と何度も挑戦し、何度も壁にぶつかりましたが、いつしか劣等感のかたまりであった努力は、宝物となりました。みなさんも自分や可能性を信じ一歩踏み出す勇気をもってチャレンジを続けてください」と思いを伝えました。気持ちのこもった演奏やメッセージに、会場からは大きな拍手が送られました。

式典を終え、実行委員会の廣崎愛花委員長は「コロナ禍で不安がありました。式典が開催され、感謝の気持ちでいっぱいです。大人として振る舞いができるように、礼節を重んじていきたいと思っています」と述べました。千田泰聖副委員長は「現在大学に進学し、地元を離れています。将来は自分が育った東北に戻り恩返ししたいと思います」と思いを語りました。